



MJIスタッフinterview

＜今回は内部監査チームで働いているEmmanuelさんにお話を伺いました＞

- 名前と出身について教えてください

私の英語の名前はエマニュエルです。意味としては「God is with us」です。私はヤンゴンから500マイルほど離れたサガイン地方カレー地区のPyidawtar村というインドに近い地域の出身です。私はチン族というミャンマーの中でもマイノリティーに属する部族です。チン族には53種類の言語があり、同じ部族でもコミュニケーションをとることが困難なこともあります。サガイン地方では約半分の人口がクリスチャンで、残りの半分が仏教徒です。高校卒業後、進学のためにホームタウンを離れました。



- 何を勉強したのか教えてください

University of Kakayで哲学を勉強しました。理由としては実用的な知識を知ることができるからです。併せて2年間物理を勉強した後、ヤンゴンにある聖ヨセフカトリック神学校で4年間神学も勉強しました。キリスト教の勉強は勿論ですが、仏教、ヒンドゥー教、イスラム教など、それぞれの宗教のポイントについて学びそれぞれを比較研究をしていました。神学の面白さは宗教を知ることができるのは勿論ですが、他宗教や他宗教徒を尊重することができるようになることだと思っています。その後、クリスチャンのミッションスクールに通い宣教師になるか悩みましたが、パプアニューギニアなど外国に派遣されてしまうので、宣教師にはなりませんでした。

- 家族について教えてください

ミッションスクール卒業後、結婚しました。私の妻はカレン州という異なる地域出身です。学生の頃、研究調査のために彼女のホームタウンに1ヶ月ほど滞在していました。その時に彼女と出会い、後にヤンゴンで再会し交際が始まりました。

結婚に至るまでには、同じ宗教、民族の人と結婚してほしいと両親に反対されたこともありましたが、彼女が娘を授かっていることを知ると最後には喜んで受け入れてくれました。現在娘は2歳になり、10ヶ月になる息子もいます。年に1回年度末などの長い休暇はホームタウンに帰り家族みんなで過ごしています。



[次のページへ](#)